

令和7年度 事業計画



基本理念

にこにこ いきいき みんなでつくろうやさしいまち
～地域共生社会の実現に向けて～

基本目標

1. 福祉の心を育てよう
2. とともに支えあおう
3. ふだんの暮らしを支えよう

基本方針

本会は、令和7年度に設立20周年を迎えます。これまでの間には、急速に進む少子高齢化や人口減少問題、新型コロナウイルス感染症の流行などによる生活困窮者の増加、人と人とのつながりの希薄化など、地域福祉を取り巻く環境等も大きく変化してまいりました。また、西日本豪雨災害や令和元年9月豪雨災害をはじめ、全国各地において自然災害が発生し、被災者等の支援に緊急且つ適切に対応することも求められています。

こうした中、本会では、すべての市民が地域の一員としてのつながりを持ち、住み慣れた地域でともに支え合うことにより、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指して、令和6年度から令和11年度までを計画期間とした第4次新見市地域福祉活動計画を策定し、地域福祉を推進してまいりました。

令和7年度は、本計画の基本理念の達成に向け、引き続き3つの基本目標に基づき各種事業を推進してまいります。

地域福祉推進事業

福祉の心を育てよう

- ・福祉大会（設立20周年記念大会）
- ・福祉情報の発信（社協だより・Facebook・まいづれ・Instagramなど）
- ・社協会員の加入促進

- ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動

- ・小学生向け福祉教育（ちよボラ）
- ・夏のボランティア体験（中高生対象）
- ・災害ボランティア推進事業
- ・ボランティア・福祉活動推進事業

ともに支えあおう

- ・集いの場推進事業
- ・福祉委員設置・活動支援
- ・“ストップ孤立”訪問事業（ひとり暮らし高齢者訪問、友愛訪問、歳末たすけあい訪問）

- ・地域ささえあい推進事業（生活支援コーディネーター事業）
- ・地区社会福祉協議会の支援

ふだんの暮らしを支えよう

- ・各種相談所の開設（なんでも相談会・心配ごと相談・法律相談）
- ・生活困窮者自立支援事業

- ・法人後見・権利擁護推進事業

- ・日常生活自立支援事業
- ・生活福祉資金貸付事業

- ・福祉車両・福祉機器等貸出事業

介護保険・生活支援事業

1. 介護保険事業・日常生活支援
総合事業

- ・居宅介護支援事業
- ・訪問介護事業
- ・通所介護事業
- ・訪問入浴介護事業

2. 障害者居宅介護支援事業
- ・障害者福祉サービス事業
- ・障害者移動支援事業
- ・障害者デイサービス事業
- ・障害者訪問入浴サービス事業

3. 生活支援事業
- ・新見市産後・子育て支援ヘルパー訪問事業

- ・介護者のつどいくつろぎの家
- ・ピオーラカフェ（認知症カフェ）

その他、社会福祉士・介護福祉士などの実習受入による人材育成・福祉団体の活動支援を行います。



令和7年度資金収支予算

●収入総額 360,949千円

(収入の内訳)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ・会費収入…………… 8,361 千円 | ・寄附金収入…………… 3,555 千円 |
| ・補助金収入…………… 98,714 千円 | ・共同募金配分金収入…………… 9,131 千円 |
| ・受託金収入…………… 66,510 千円 | ・事業収入…………… 8,649 千円 |
| ・介護保険事業収入…………… 161,045 千円 | ・障害福祉サービス等事業収入… 1,921 千円 |
| ・利息収入・雑収入…………… 3,063 千円 | |

●支出総額 362,851千円

(支出の内訳)

地域福祉活動推進事業 9,735 千円

- ・福祉委員の設置・活動推進、地区社協の活動充実・組織強化、福祉連絡会・小地域ケア会議の開催など住民主体の福祉活動の支援や推進
- ・福祉意識醸成のためのセミナーや出前福祉教室の実施、災害ボランティアの養成など
- ・友愛訪問・歳末たすけあい訪問、にいみあんしんカードの作成など、高齢者等が安心して暮らしていくための支援

介護保険事業等 169,419 千円

- ・居宅介護支援、訪問介護、通所介護、訪問入浴介護
- ・障害者居宅介護、生活介護、移動支援
- ・介護者のつどい事業など

受託事業 75,715 千円

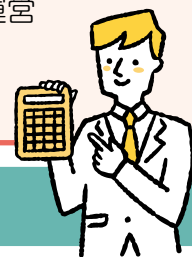
新見市などからの委託を受け、次の事業を行います。

- ・生活支援コーディネーターの配置、地域における支え合い活動の推進
- ・ふれあいサロンの推進
- ・自立相談支援事業、家計改善支援事業
- ・法人後見・権利擁護推進事業
- ・日常生活自立支援事業（判断能力が不十分な人の金銭管理等の支援）
- ・ピオーラカフェ（認知症カフェ）

法人運営事業 107,982 千円

- ・社協の運営経費、福祉団体への助成など
- ・新見市地域福祉センターの運営管理など

収支差額の 1,902 千円には、前年度末繰越金を充当します。



「ぴーらキッチン」

あたたかいごはん参加者同士の交流スペースを設けて、人と人がつながるきっかけをつくりました。



「夏のボランティア体験」

夏休み中の中高生に、福祉施設などでのボランティア体験の機会を提供しました。